

広報

くどやま

2021
9月号
NO. 551



写真は昨年度のものです

ネイティブな英語にふれる機会を

和歌山県「匠の技 伝道師」として認定



▲ 左 中谷裕一さん

このたび、和歌山県は、卓越した栽培技術を持つ農業者7名を「匠の技 伝道師」として認定し、当町からは中谷裕一さんが認定されました。

「匠の技 伝道師」制度とは、優れた栽培技術を次世代につないでいくことを目的として、県がその優れた技術を持つ農業者を認定する制度で、今年度から創設されたものです。

中谷さんは、長年、柿の生産者として高糖度、大玉完熟柿の栽培技術の確立に先駆的に取り組み、その結果、富有柿の最高級品「夢」「希」の生産に成功し、また地域のリーダーとして富有柿のブランド化に貢献していることが認められました。

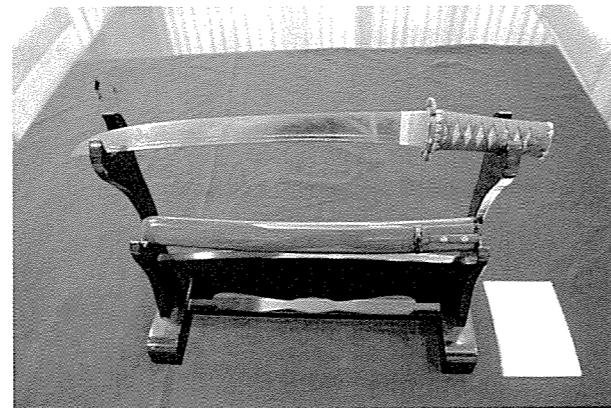
県は、技術の継承を希望する方を対象に、中谷さんによる研修会の開催を進めています。

■問い合わせ 産業振興課 (☎54-2019)

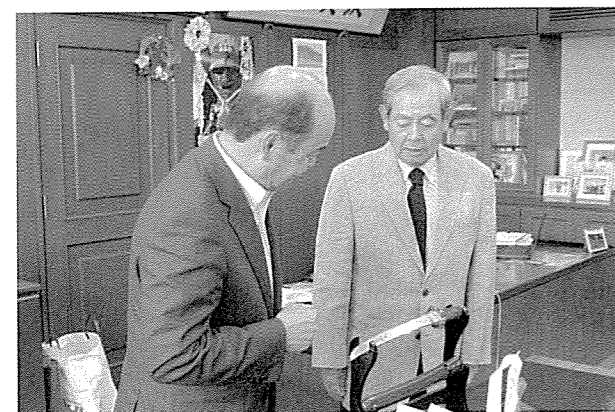
松山常次郎氏ゆかりの脇差、ミュージアムへ！

松山常次郎氏ゆかりの脇差が、常次郎氏直系の孫にあたる創氏より、本町に寄贈されました。

この脇差は、真田昌幸・幸村親子が活躍する戦国時代に作られ、「折れず、曲がらず、よく切れる」と天下にその名を轟かせた“美濃伝”の逸品です。



松山常次郎氏ゆかりの脇差 ▶



▲ 右 松山創さん (松山常次郎氏の孫)

左から 松山創さん、松山穂さん、松山光さん ▶

■問い合わせ

産業振興課 (☎54-2019)

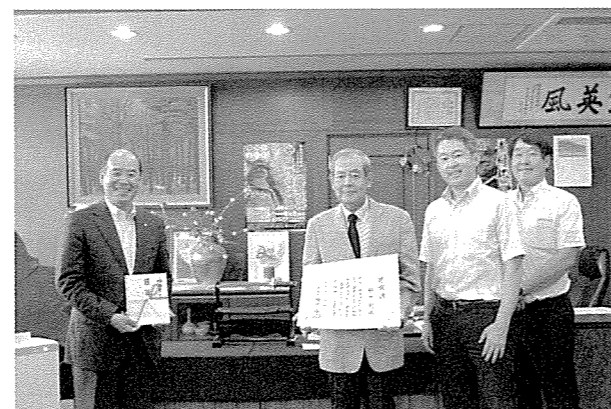
九度山・真田ミュージアム (☎54-2727)

【休館日】毎週月・火曜日※ただし祝日の場合は翌平日

【開館時間】午前9時～午後5時 (最終入場午後4時30分)

(3)広報くどやま 令和3年9月号

現在、九度山・真田ミュージアムでは、平山美知子氏寄贈の「幸村公 鎮魂の刀 (濱川貞純作)」と今回寄贈された脇差とを並べて展示しています。くしくも“真田幸村”を縁に、時を超えて「松山常次郎氏ゆかりの脇差」と「平山美知子氏寄贈の日本刀」が相まみえ、九度山・真田ミュージアムにて父娘が共演することとなりました。



幼少期から英語遊びや英語学習を通して、子どもたちがネイティブな英語に触れる機会を増やすため、令和2年度より本町の児童生徒数の規模としては格別のALT2名配置を特別におこなっています。外国の人や文化に興味を持ち、英語だけでなく多言語を話せるよう期待しています。



▲毎週木曜日ビル先生の教室の様子



▲幼稚園・保育所の英語遊びの様子

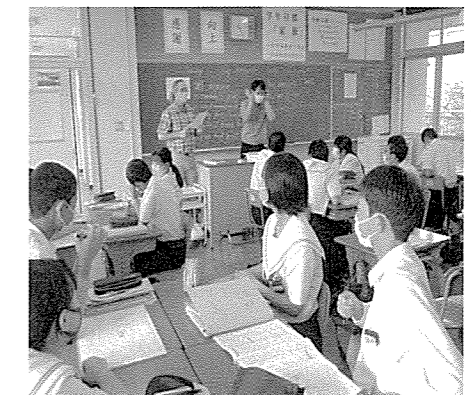


▲公民館の「こども英語教室」2・3歳児コースの様子。毎週水曜日、クリス先生が担当して楽しい授業がくり広げられています。

▼ 昨年の公民館でのハロウィンパーティーの様子 ▼



◀ 小学校担当のクリス先生が授業をしている様子です。



▲中学校担当のビル先生が授業をしている様子です。

小学校1・2年生は、基本2週間に1回、3・4年生は毎週1回、5・6年生は、毎週2回ALTのクリス先生が中学校の英語の先生や英語の支援員の先生・担任の先生と一緒に授業をおこなっています。中学校は、ALTのビル先生が、英語科の先生のアシスタントとして授業をおこなっています。

九度山町の特徴ある教育のひそつ
「子どもたちへの英語教育」を紹介します。

世界骨粗鬆症デーについて

脊椎ケアセンター 寺口真年

10月20日は世界骨粗鬆症デーといい「骨粗鬆症（こつそしょうしょう）に対する正しい理解と治療予防法を学びましょう」というキャンペーンが世界中で行われるイベントです。

骨粗鬆症とは「骨の量が低下し、骨の中の構造が変化することによって、骨が脆くなり骨折しやすくなってしまふ病気」と定義されています。超高齢化社会の日本は骨粗鬆症の方が約1300万人以上はいると予想され、予備軍も含めると日本の総人口の約10%はいる計算になります（女性の場合は6人に1人）。この先もどんどん増えていくと予想されるので、国民病とも呼べる病気と言えます。実は、骨粗鬆症になると様々な合併症を引き起こし、健康に大きな影響を及ぼしてしまいます。例えば転倒などにより骨折を引き起こしやすくなり、要介護状態や寝たきりになってしまいます。

しかしながら「骨粗鬆症は老化による衰えのひとつで治療のしようがないもの」と捉えている方も多いのではないのでしょうか。老化は逆らいようのないものですが、骨粗鬆症は予防や治療を行うことで改善が可能です。そのためにはまず骨粗鬆症の検査をする必要があります。骨粗鬆症の検査にはDXA法による骨密度検査、採血による骨代謝マーカー測定などがあります。これらの検査は短時間で終わりますので、身体に対する負担は非常に少ないものです。

骨粗鬆症の治療はまず食事や運動といった生活習慣の改善も重要であります。また骨粗鬆症治療薬も近年、内服剤や自己注射、そして年一回の注射剤など非常に多様な製剤がありますので患者さんと家族さんのニーズに合わせた選択を行っております。世界骨粗鬆症デーを機会に是非、紀北分院に来て頂き骨粗鬆症について理解を深め、検査と早期の対策を行いましょ。

■問い合わせ 和歌山県立医科大学付属病院紀北分院 (☎22-8361)

一人暮らしの高齢者とご家族のみなさまへ

離れた家族とつながる「みまもりでんわ」をご利用ください！

こんなお悩みはありませんか？

離れて暮らす家族が心配で

簡単で気軽に使えるサービスがいいけれど

安否確認サービスを使いたいけれど

離れて暮らす大切な家族といつもの時間に電話とメールでつながる、

..... 簡単・便利な安否確認サービスです！

町では主に一人暮らしの高齢者の方向けの見守り事業として「みまもりでんわ」のサービスを行っています。

今、ご自宅でお使いの電話機で簡単に操作できて、“個人の費用負担”はほとんどありません。是非、ご利用ください。

使い方は簡単

① 毎日ご希望の時間に電話がかかります。

② その日の体調を受話機の①②③から選んで押す。

③ 登録してあるご家族、友人等へその日の健康状態がメールで送られてきます。

①元気で
②いつも通りです
③元気がありません
*留守の場合には、その旨がメールされ、1時間以内にもう一度、電話がかかります。

*なお、管理情報として役場福祉課にも同じ内容の情報が届きます。



お問合せ・お申込み

九度山町役場 福祉課 ☎54-2019

九度山なぎなた教室

令和3年7月3・4日の2日間にわたり第45回和歌山県なぎなた夏季大会が和歌山市の和歌山県立体育館で開催され、当教室が優秀な成績を収めました。

結果

中学生個人の部

優勝 福本 響(中2)

中学生演技の部

3位 諏訪 恭廣(中2)・森 遥希(中2)ペア



▲上段左から 諏訪さん、森遥希さん、奥野さん、福本さん
下段左から 岡さん、森友樹さん

九度山ソフトテニス



令和3年6月27日に金屋テニス公園で令和3年度和歌山県小学生ソフトテニス研修大会が開催され、当クラブが優秀な成績を収めました。

結果

ヨネックス杯(1位トーナメント)

第3位 木村 亮太(4年)

山田 健翔(3年)ペア

◀左から 山田さん、木村さん



▲左から 林さん、中邑さん



第29回近畿小学生選手権ソフトテニス大会が令和3年7月10日(土)～11日(日)に大阪府・堺市金岡公園テニスコートで開催され、県代表の一員として当クラブが優秀な成績を納めました。個人戦男子の部では、九度山ジュニアとして2回目の優勝となりました。

結果

個人戦 男子の部

優勝：中邑 夢弥(6年)

林 寿李稀(6年：美浜ジュニア)

団体戦 男子の部

優勝：和歌山県Aチーム 中邑 夢弥(6年)

女子の部

第3位：和歌山県Aチーム 寺岡 紗菜(6年)

井上 優衣奈(6年)

広報くどやま 令和3年9月号(4)

和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト体力測定会 ～集まれ未来のアスリート！～

運動に優れた素質を有する子供たちを早期に発掘し、将来、国際舞台で活躍できるアスリートを育成するため、ゴールデンキッズを選考する体力測定会を開催します。

- 開催日程 日時：令和3年10月16日（土） ①10:30～11:30 / ②13:30～14:30
会場：和歌山県立橋本体育館サブアリーナ（橋本市北馬場455）
※他にも県内7会場で開催しています。詳細は下記ホームページでご確認ください。
- 申込み期間 令和3年8月23日（月）～9月10日（金）必着
- 対象 県内在住の小学校3、4年生男女
- 応募方法 ①参加申込み専用サイトで申込みをする。
②学校で配布された参加申込書を郵送する。



QRコード

- 問い合わせ
県教育庁生涯学習局スポーツ課内
和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト事務局 ☎ 073-441-3753
※和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクトホームページ
<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/500400/gksp/ikusei/290603/d00154608.html>
参加者全員にきいちゃんタオルをプレゼント！

伊都地方人権尊重連絡協議会こころの研修開催について

伊都地方人権尊重連絡協議会では、企業関係者はもちろん、広く県民のみなさまとともに身近な人権について考える機会になるよう人権研修をおこないます。

- 開催形態 オンライン配信（YouTube 上にて講演動画をアップロード）
- 内容 テーマ「同和問題」
講演タイトル「私たちの部落問題～一緒に考えるということ～」
講師 三木幸美（みき ゆきみ） とよなか国際交流協会職員
- 期間 令和3年10月1日～10月31日
- 視聴方法 視聴を希望される方は、下記メールアドレスに、年齢、性別を記載のうえご連絡ください。追って講演視聴に必要な情報をご連絡します。
（メールアドレス：ito.jinken@gmail.com 受付期間：9月27日～10月1日）
- 連絡先 伊都地方人権尊重連絡協議会事務局 担当 松田
☎0736-33-4900

九度山町学生緊急支援給付金について

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、世帯収入・アルバイト収入の減少により、大学等での修学の継続に支障をきたしている学生を支援します。

- 給付額 学生一人に対して10万円
- 対象者 大学（大学院を含む）・短期大学・高等専門学校（第4・5学年）・専門学校に在籍している者（詳しくは九度山町のホームページをご覧ください）
- 申請期間 令和3年6月1日～令和4年2月28日
- 申請方法 九度山町学生緊急支援給付金交付申請書に必要事項を記入の上、次の書類を添付してください。
 - ・大学等の在学証明書（学生証）のコピー
 - ・保護者の住民票（コピー可）
 - ・令和3年1月以降の2ヶ月分で、アルバイト収入の減少（20%以上減少）、保護者の世帯収入の減少（20%以上減少）が比較できる支給明細書等のコピー



※詳しくは九度山町のホームページをご覧ください。申請にあたってのご相談も受け付けております。

<問い合わせ> 教育委員会 学校教育課 (TEL) 54-2019 (FAX) 54-4670